平成30年度
使用開始!

『改訂版 ON! 2』で基礎を生かして より自由に音楽と遊ぶ

ONTOMO高校　音友キョウカ先生の日々

『改訂版 ON! 2』は,「音楽を形づくる要素」について「どの要素をどのように効かせると,自分が目指す表現ができるようになるか」を学び,自発的に考えて工夫できるようになることを目指します。『ON!』を使った授業の例として,音友先生の挑戦をご覧ください。

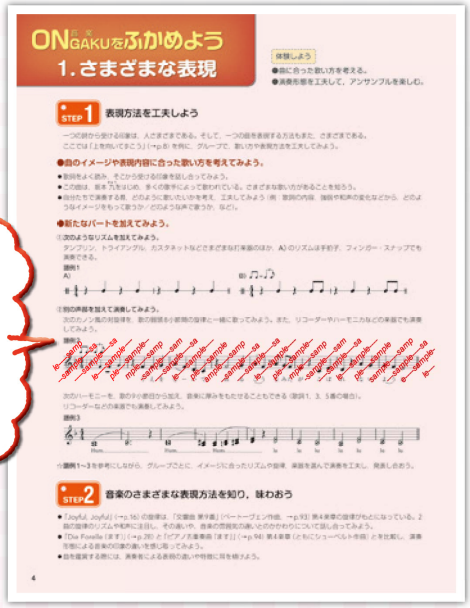
4月　2回目の春,より深い学びへの第一歩!

――4月。このクラスの生徒たちとの学びも2年目に突入する。昨年学んだことをより生かしていきたいキョウカ先生。
「2年生はパートを増やして豪華なアンサンブルに挑戦させよう!」

――まずは「上を向いて歩こう」を歌って。有名な曲だからスウィングの感じはわかるみたいだけど,なんとなくじゃなく意図をもって表現してほしいな。
「この曲をどんなふうに歌いたいですか? そのためには何をどうすればよいだろう?」

「歌詞も見てみよう。坂本九さんはどんな風に歌ってる?」

――どう表現したいか,イメージが具体的になってきたみたい。ここでいよいよアンサンブルに挑戦!
「イメージを表現できるのは,メロディーの歌い方だけじゃありません。音を加える,という方法もあります」



ONGAKUをふかめよう「1.さまざまな表現」(p.4)

リズム・パートと対旋律パートとハーモニー・パートを加える。各パートは易しいから意外と時間がかからずにできるはず!

表現の手がかりとなる音楽用語も,クイズ形式で覚えてしまおう

ONGAKUをふかめよう
「4.音楽を表現するために」(p.7)

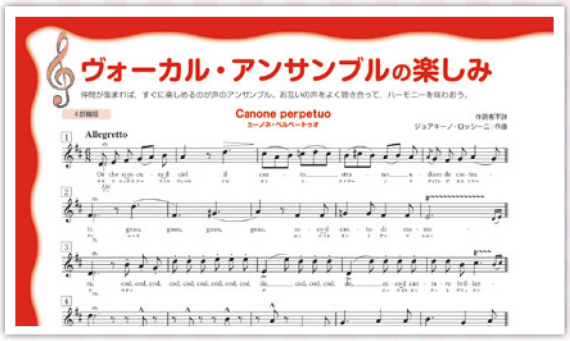
「合わせてみよう! これらが加わるのと加わらないのではどう違うかな?」

――リズム,カノン風対旋律,ハーモニーを加えて,これらの効果について理解させることができたし,歌唱の表現もより深まった!

キョウカ先生は2年目も良いスタートをきることができた!

6月 輪唱＆合唱で声の力を再認識

――梅雨。外で思いっきり活動できる日も少なくて，何となくモヤモヤ，イライラしがちな生徒たち（とキョウカ先生）。
「うーん。これはよくない傾向！」キョウカ先生はこのゆき場のないエネルギーを合唱にぶつけることにした。



「まずは短い輪唱でウォーミング・アップしましょう。
お互いの声をよく聴いてね～」

――「上を向いて歩こう」のアンサンブルの成果もあって，カノンの効果，おもしろさを少しは理解しながら歌えているかな？

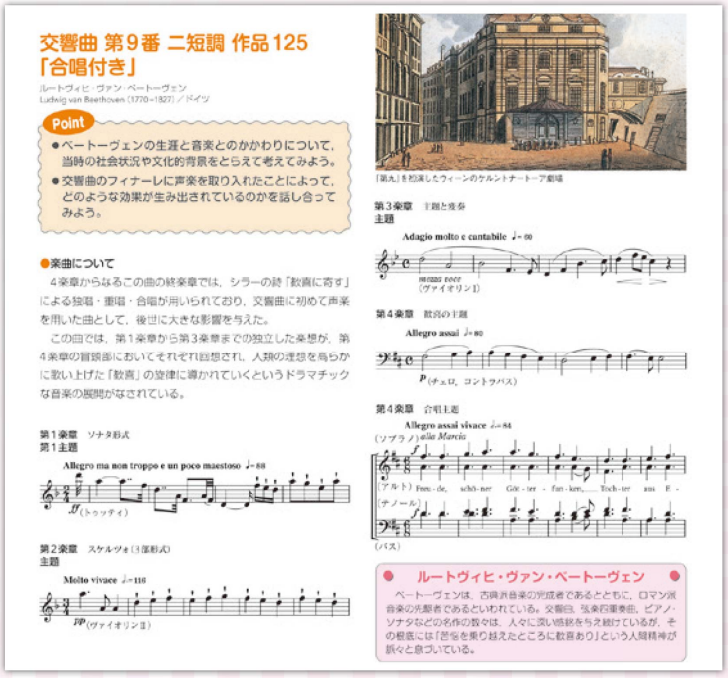
動物の鳴きまねで盛り上がり……

♪どじょっこ ふなっこ（短い混声4部）
♪In the Mood（ヴォーカル・アンサンブル）
♪埴生の宿（混声4部）
♪学生歌（男声4部・女声3部）
♪うたを うたう とき（混声4部）
♪Ave verum corpus（混声4部）
♪かわいい恋人がほほえんで（混声4部）
♪The Scat Calypso
（混声4部＋ボディ・パーカッション）

「次は合唱。この曲はじっくり取り組んで，2学期の文化祭で発表するよ！」

今の彼らに合っているのはどの曲かな。生徒たちの意見も取り入れて決めよう。

『天使にラブソングを2』のゴスペルもいいかも



――そうだ，「Joyful, Joyful」といえば……声の力強さを実感できる作品「第九」も鑑賞しよう！
「みんなで声を合わせた時のパワーってすごいよね」

ON! の輪唱

『ON!』には輪唱（カノン）を多数掲載しています。輪唱は，パートごとの音とりの時間を短縮し，音を重ねることの楽しさを簡単に味わうことができます。

〈輪唱に関わる掲載曲〉

『改訂版 ON! 1』
- Viva la musica　●Dona nobis pacem
- Football Canon（ヴォイス・アンサンブル）

『改訂版 ON! 2』
- Canone perpetuo
- 「7つのやさしいカノン」から（器楽）
- 上を向いて歩こう（「ふかめよう」より）
- つくろう（第九の旋律で輪唱を創作）

キョウカ先生と生徒たちは声の力を実感し，梅雨のゆううつを吹き飛ばした！

9月 文化祭の発表めざして練習だ！

――もうすぐ文化祭。今年ももちろん音楽選択者の発表をやるので，キョウカ先生はその選曲に頭を悩ませていた。
「まずは器楽……」

♪On The Beat!（ボディ・パーカッション）
♪Don't Mind（ボディ・パーカッション）
♪「7つのやさしいカノン」から（リコーダー3重奏）
♪ブラジルの女（ソプラノ＆アルト・リコーダー，ギター）
♪インスブルックよさようなら（リコーダー4重奏）
♪スーパーカリフラジリスティックエクスピアリドーシャス（4手連弾）
♪世界の車窓から（アルト・リコーダー2重奏）
♪島人ぬ宝（バンド・アンサンブル）
♪笑点のテーマ（2重奏+打楽器）
♪八木節パラフレーズ（ヴォイス+パーカッション・アンサンブル）
♪中国地方の子守歌（箏2重奏）

ボディ・パーカッションはみばえがいい！

私は難しい曲にチャレンジしたい。

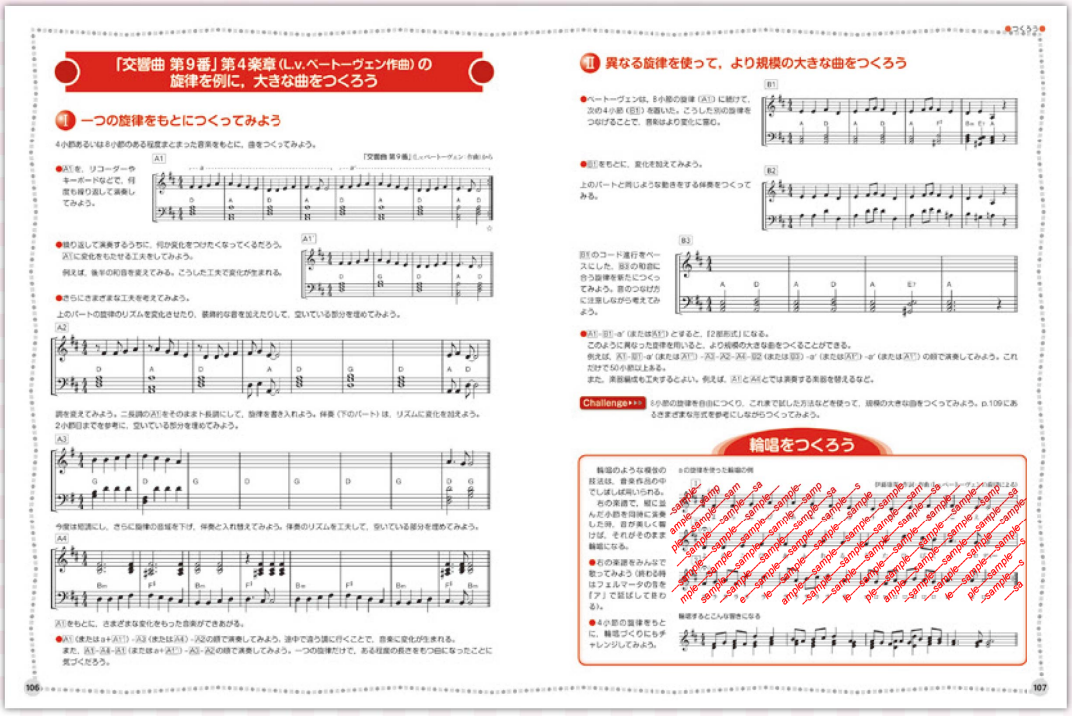
4手連弾とか楽しそう！

みんなが知ってる曲がいいなぁ。

箏とか太鼓とかかっこいいじゃん！

――生徒たちにも相談した結果，ますます混迷する曲選び……。生徒たちが意欲的に取り組む曲，聴きごたえのある曲はもちろん入れたいけど，日ごろの学習の成果がみえる場でもあってほしい……そこで，キョウカ先生はひらめいた。あのページがまだ手つかずじゃないか！

「1学期にやった『第九』覚えてるよね？ 第4楽章の旋律から大きな曲をつくって，それも発表しようよ！」



つくろう「交響曲第9番の旋律を例に，大きな曲をつくろう」（p.106-107）

えぇ～ちょっと難しそう……

「これまでと同じように，和音，旋律，調，音域……音楽を形づくる要素を一つずつ変化させていけば大丈夫」

一つずつ変化させてつくった短い小節をつなぎ合わせて，構成や楽器編成も工夫すると，いつのまにか長い曲に。簡単かつ本格的って，生徒たちも大好きなんだよね。

発表会だし，華やかな感じをもっと出したいね。

「上を向いて歩こう」でやったようにパーカッションのリズム・パートを増やしたら？

ここはカノンを入れて壮大な感じにしたい！

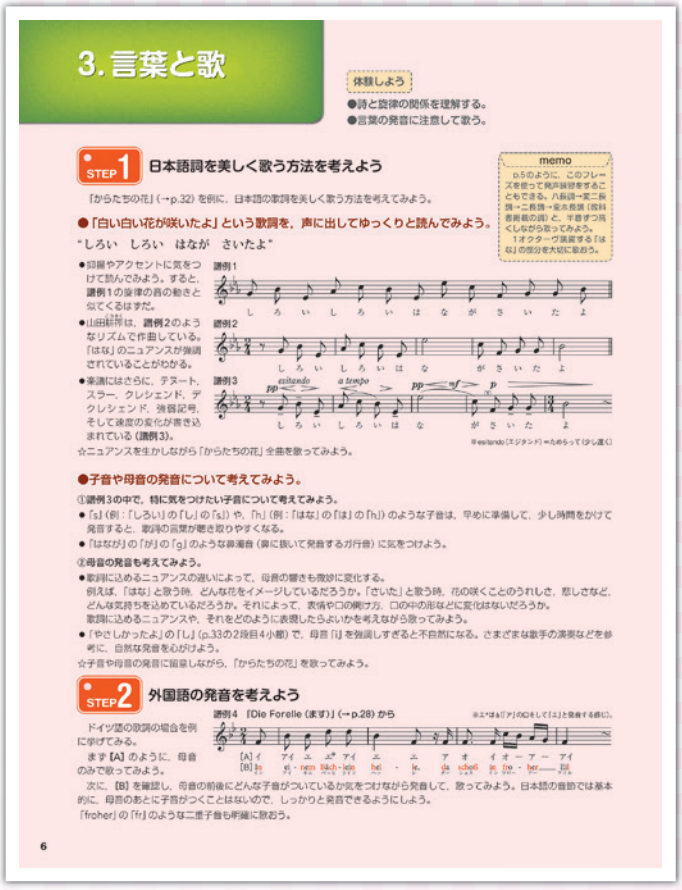
いいね！ 合う楽器はどれかな？

――うん！ 自分たちで意図をもって音楽をつくりあげられるようになってきたな～。

文化祭の発表は大成功！
キョウカ先生も大満足！

1月　今年度も集大成の独唱発表会

――また，あっという間に1年が過ぎようとしていた……。
「独唱発表会でしめくくりましょう。昨年度より豊かな表現ができるようになっているかな？」

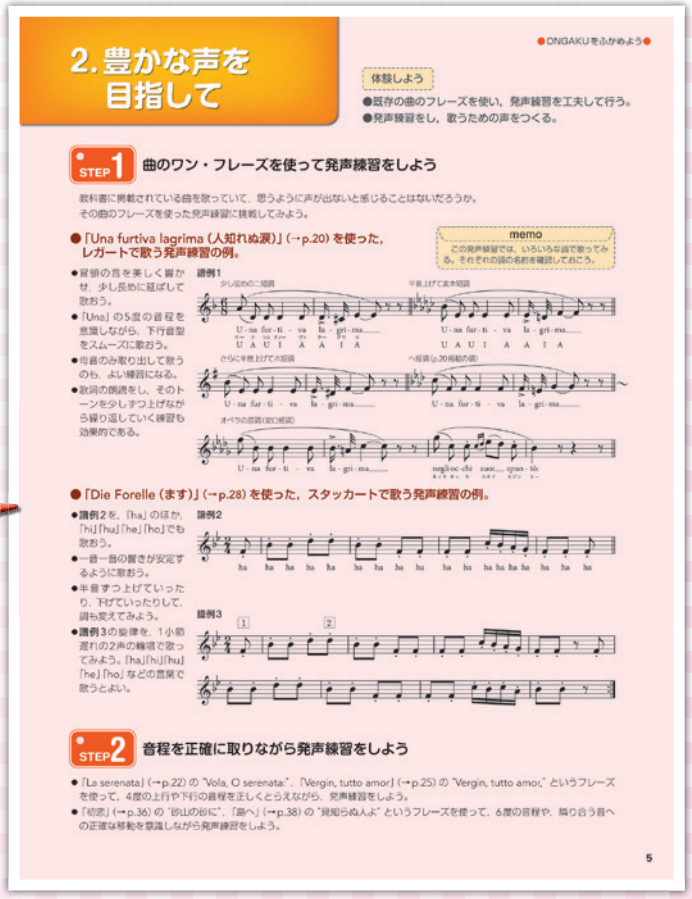


ONGAKUをふかめよう「3.言葉と歌」(p.6)

「言葉のもつリズムと抑揚が歌の中に生かされていることは去年学んだね。今年はより表現を深めてみよう。
　作曲者がより大事に歌ってほしいと感じたところは，音の高さ，長さ，強弱が工夫されているのがわかるかな？」

――みんな真剣に楽譜を見てる。楽譜に作曲者の思いが込められていることに，改めて気づいてくれたみたい。
「そして，美しい言葉で歌うために，子音，母音の発音も一つ一つ注意深く表現していこう。外国曲の場合はどうかな？」

教科書に載っている具体的な例を試しながら……



ONGAKUをふかめよう「2.豊かな声を目指して」(p.5)

「良い声，正確な音程，そして，どのような歌い方をするかも大事ね。さまざまな発声練習をやってみましょう」

レガート，スタッカート，子音，母音，音域……既存の曲を使って発声練習！

――これまで学んだことを総動員し，昨年より具体的な工夫を積み重ねてより深い表現をめざす生徒たち。キョウカ先生は練習の段階からすでに胸がいっぱいだったが，発表会本番で生徒たちの一生懸命歌う姿を見てついに涙……。

キョウカ先生は，生徒たちに「音楽を楽しみ，音楽と遊ぶ力」を身につけさせることができた！

そして音楽Ⅲへ！

音楽之友社の「音楽Ⅲ」教科書は，『高校生の音楽』内容解説資料をご覧ください。

教科書の掲載曲一覧は，音楽之友社HPをご覧ください。